

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	生活協同組合コープみらい	事業所名	看護小規模多機能ホーム コープ夢みらい四街道
所在地	(〒 284 - 0001) 千葉県四街道市大日 1794-3		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・医療ニーズの高い方でも、住み慣れた「自宅」・「地域」で希望をもって最期まで生活が出来るよう支援していきます。
- ・どのような状態の方でも、十分にお話を伺い利用者の受け入れを行っています。
- ・利用者・ご家族の状態に応じて、看護小規模多機能型居宅介護事業所の「通い」「泊まり」「訪問（看護・介護）」サービスを組み合わせて支援を行います。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 12 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(23) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2026 年 2 月 20 日	出席人数（合計）	(5) 人	※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	■自事業所職員 (2) 人 □市町村職員 (1) 人 ■地域包括支援センター職員 () 人 ■地域住民の代表者 (1) 人 ■利用者 () 人 □利用者の家族 () 人 □知見を有する者 (1) 人 ■その他 () 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		利用者ご家族の情報共有を行うことで利用者の状態把握と問題点の絞り込みを行っていきます。	月単位、週単位での定期的なカンファレンスと地域の研修会に積極的に参加できるようにして資質向上に努めました。	引き続き情報共有の場を確保し利用者様にタイムリーなサービスが提供できるよう継続していきます。
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・利用者、ご家族の生活を見据えて必要なサービスを検討していきます。 ・在宅生活が継続できるためのサービスも検討していきます。	朝礼、昼礼時のミーティングやケアの手順書、ご家族との連絡ノートなどを利用しています。送迎時や訪問提供時には、ご家族を含めてご利用者様の状況を確認しケア提供に繋げました。	昨年同様、医療依存度が高い利用者様が多いので、本人やご家族のニーズに沿ったケアを提供していきます。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・医療機関や、介護保険サービス事業所と連携を図り、利用者様の在宅生活継続の支援を行います。	望むくらしのイメージをつけていただき、退院後在宅生活に不安が無いように多職種連携継続をします。日常生活上変化があるときは、タイムリーな対応を心掛けています。	利用者様ご家族様の希望に沿った対応ができるように、入院時からかかりを持ち、退院後は円滑に看多機へ移行できるようにしていきます。地域のケアマネからの依頼時は、情報共有を密に行いケアマネ含め自事業所に来所していただき不明点が無いように説明を行っています。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	地域における住民活動に参加し、看多機の活動について情報共有を行いました。	地域の身近な場所に自施設があることを認識していただく。そして、いつまでも安心してこの町で暮らせるように支援していくことが必要と感じます。	新規相談件数が増えてきており、看多機の認識が広まりつつあると感じます。
Ⅲ. 結果評価		・医療ニーズの高い利用者様やそのご家族	引き続き不安の解消に努め、在宅生活に	医療依存度の高い方は、急激な体調変

(評価項目 42～44)	族様が、住み慣れた「自宅」・「地域」で安心して生活が継続出来るように、介護看護体制を強化し看護小規模多機能の良さを地域住民の皆様に理解していただきます。	必要な具体的な計画目標を挙げて職員全員で支援を継続しています。	化と同時に日常生活も大きく変化する為、ご家族の心身の負担も大きくなることが予想される。利用者ご家族を一つの単位として考えること。そして、状態変化に応じて目標を設定し、職員皆が同じレベルのサービスを提供できるように支援することが必要と感じています。
--------------	---	--	--

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 (評価項目 1～10)		職員採用進まず、定期的な勉強会を実施し介護技術のアップをしていきました。引き続き介護看護の連携を強化して行くことが必要と考えます。	医療依存度が高い利用者を受け入れるため、職員の介護技術のアップと、看護職の必要制に応じて訪問看護ステーションと連携を強化していきます。
Ⅱ．サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	利用者ご家族を中心に、常にアセスメントしながら変化に応じたケアの提供を行っていきました。	利用者ご家族を中心に、職員全員が連携しながら今後もタイムリーなケアを提供して行く必要があると感じます。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	看護小規模多機能居宅介護のアピールを介護職及び計画作成担当者で、関係機関に定期的に訪問しサービスの良さを伝え、契約につながっています。	昨年同様に、関係機関に看護小規模多機能居宅介護のアピールを行い、このサービスの良さを伝え在宅生活の継続を支援します。
	3. 誰でも安心して暮らせる	積極的に地域に出向き、このサービスを利用することで最期ま	積極的な地域への活動は不十分であったが、このサービスを利

	まちづくりへの参画(評価項目 32～41)	で自宅で過ごせるんだ！と考えていただけるように関わりを知り続けていきたいと考えています。	用することで最期まで自宅で過ごせる！と考えていただけるようにアピールしていきたいと考えています。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		地域の皆様に看護小規模多機能ホームの具体的な内容をお伝えすることが必要と感じていますが、不十分であったと感じています。	引き続き地域の皆様に看護小規模多機能ホームをアプローチする必要があると感じます。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			特になし	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○			特になし	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
[具体的な状況・取組内容] ・自立支援の取り組みはできている ・スタッフにより理解の差がある ・理念は職員に伝えられている ・10の基本ケアを念頭に実践している							
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○			特になし	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
[具体的な状況・取組内容] ・目標達成のため振り返りを行っている ・育成計画は不十分							
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			特になし	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] ・研修の機会があれば参加したい ・専門技術向上のため研修等に参加したい							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・ヘルパーの育成計画がどのように行 われているのか看護師の自分はわか らない					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○			特になし	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・看護師、介護士、計画作成担当者間では情報共有は不十分 ・定期カンファレンスを行い情報共有を行っている ・以前よりも情報共有はできるようになっている ・意見を出し合う場がある ・必要とされる情報の取得は自ら行っているが不十分					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている			○		特になし	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・会議で得られた情報を知る機会が少ない					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・会議は行われているが、職員の要望 や助言が反映しているかわからない ・あまり反映されていない ・会議の内容は自分では不十分					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くこと ができる就業環境の整備に 努めている		○			特になし	✓ 「職員が、安心して働くことので きる就業環境」の充足度を評価し ます ✓ 例えば、「職員の能力向上の支 援」、「精神的な負担の軽減のため の支援」、「労働時間への配慮」な どが考えられます
		[具体的な状況・取組内容]					
		・自分はパートで安心して働いている ・常勤の職員が協力してる ・就業環境は整っている ・精神的な負担があり安心して働ける 場とは思わない					
（４）情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、 随時更新を行うとともに、 必要に応じて職員間で迅速 に共有できるよう工夫され ている		○			特になし	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間 で迅速に共有するための工夫」の ２つの視点から、充足度を評価し ます
		[具体的な状況・取組内容]					
		・タブレットの活用で情報が得やす くなった					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・ 情報ファイルの確認や口頭での確認 を怠らないようにしている					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者 等および職員の安全確保の ため、事業所においてその 具体的な対策が講じられて いる		○			特になし	✓ 「各種の事故に対する予防・対 策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、 例えば「医療・ケア事故の予防・ 対策」、「交通安全」、「夜間訪問時 の防犯対策」、「個人情報保護」な どが考えられます
		[具体的な状況・取組内容]					
		・ 勉強会や伝達等で具体的に行ってる					
		・ 意見を出し合いながら対策を取る努 力をしていると感じる					
		・ 車両事故や介護事故までには至らな い何かあってから対策を立てている 印象がある					
		・ マニュアルの見直し、周知が必要					
		・ 事故予防の個々の意識にばらつきが あり事故リスクが高い状態。また事 故発生時の振り返りや見直しが必要					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時において も、サービス提供が継続で		○			特になし	✓ 「緊急時におけるサービス提供 のための備え」について、充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	きるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> ・緊急時に備えてマニュアルを確認することは必要 ・安否確認メールを定期的を実施 ・具体的な場を想定し訓練が必要 ・連絡先リストの作成 ・備蓄品の保管場所の確認等行っている ・全体の対応力強化が必要					を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます ✓
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			特になし	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> ・利用者の生活全般を捉える必要がある ・職種間でそれぞれアセスメントがもう少し必要 ・家族の意向を含めたサービスの組み立てを行う努力が必要					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○			特になし	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・看護介護それぞれ受け持ち同士の立場で共有している ・介護職からの情報が分かりにくい ・チームアプローチが必要 ・自分の役割を理解し連携を図る ・情報共有が少しできるようになった							
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			特になし	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・毎月の計画見直し、アセスメントを行っている ・ご家族の考えまでは把握していないこともあり今後の課題 ・職員からの意見を聞く場を設けている ・達成に向けた計画はケアマネが実施している							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○			特になし	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
[具体的な状況・取組内容]							
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○			特になし	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
[具体的な状況・取組内容] ・計画は作成できているが、状況の変化を予測し何が必要なのか、職員全員で考えることができていない							
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反		○			特になし	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] ・計画への適時反映はできていない							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	映が行われている	・状況変化に適宜対応できるように心がけている ・利用者の体調変化時など看護介護でアセスメントしている					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○			特になし	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			特になし	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かし		○			特になし	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ながら、柔軟な役割分担が行われている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・それぞれの役割は果たされている ・役割分担されている					度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		○			特になし	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u>					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている		○			特になし	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・訪問サービス実施時に行っている					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・理解に応じて繰り返し説明をしている					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族		○			特になし	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	[具体的な状況・取組内容] ・ご本人家族の意向を確認している					
26	○在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○			特になし	✓「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・自分はそのような場面に遭遇する機会がない ・計画作成者が主となり実施しているため関わることはない					
27	○終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		○			特になし	✓「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] ・記録は残っている ・看取りまでの経過説明、本人の意向を確認している					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等		○			特になし	✓「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価し

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	[具体的な状況・取組内容] ・カンファレンスに参加し退院前の 情報共有が図れている					ます ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファ レンスへの参加」、「利用者等に係 る病院・施設等との継続した情報 共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、 緊急時の対応方針等を、主 治医等と相談・共有するこ とができている		○			特になし	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医 等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者 の状況の変化など、実際に発生す る前の段階から予め対応方針等 を主治医等と相談・共有しておく ことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携 により、休日夜間等を含め て、すべての利用者につい て、急変時に即座に対応が 可能な体制が構築されてい る		○			特になし	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価しま す
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
31	○ 運営推進会議等において、 利用者のために必要と考え られる包括的なサポートに ついて、民生委員・地域包括 支援センター・市区町村職 員等への情報提供や提案が 行われている			○		特になし	✓ 「利用者のために必要となる、介 護保険外のサービスやインフォ ーマルサポート等を含めたケア の提供について、多職種とともに 検討・支援を行っていくなどの取 組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことが ない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や 町会長などの住民代表も対象で す
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録につい て、誰でも見ることができ るような方法での情報発信 が、迅速に行われている			○		特になし	✓ 「誰でも見ることができる方法 での情報発信」と「迅速な情報発 信」の2つの視点から、充足度を 評価します
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等につい			○		特になし	✓ 「積極的な啓発活動」について、 評価する項目です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	て、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・地域への啓発が不十分					✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				特になし	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整ってお			○		吸引の必要な利用者に対しての相談件数は、開設してから2件程度である。日中看護	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	り、積極的に受け入れている	・できていない ・受け入れ不可 ・痰の吸引ができる介護職がおらず 夜勤の際に対応できない				師のいる時間帯は対応でき ている。今後吸引が必要と予 測される利用者への対応の ためにも、介護職の喀痰吸引 の研修が必要である。	が整っていない場合は、「全くで きていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○	特になし	✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容]							
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				特になし	✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] ・受け入れ可能出来ている。							
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		○			特になし	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・地域包括システムのプロセスについて学習したい					
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		○			市内でも遠方になるとサービス内容によって受け入れが難しいことがある。広域利用も検討したこともあった。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・市内全域で実施している					
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に			○		特になし	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	応じて課題提起や改善策の 提案等が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・地域の関係者に対して問題提起や改善 策の提案を行うことができていない。					価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じ て得た情報や知見、多様な関係者 とのネットワーク等を活用し、必 要となる保険外サービスやイン フォーマルサービスの開発・活用 等、利用者等のみでなく地域にお ける課題や改善策を関係者に対 して提案していくなどの役割も 期待されます ✓ そのような取組をしたことがな い場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対 し、その介護力の引き出し			○		特になし	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介 護力の引き出しや向上のための

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およそ でき て い る	あまり でき て い な い	全 く でき て い な い		
	や向上のための具体的な取組等が行われている	<u>「具体的な状況・取組内容」</u> ・不十分					取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・利用者ごとの計画目標の達成が不明な部分もある。	特になし	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・安心できるとお話あり	特になし	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	①. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・対応しているスタッフは丁寧に実施しており安心感を与えている感じがする ・看取りの機会が少ない ・具体的に希望している方は今のところない		✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」